

信号変換基板 取扱説明書

接点 → 赤外線

松下 PDP TH-42PHD7 用

(有) ロジックス

857-0055

長崎県佐世保市湊町2-15

E-mail : logix@lgx.co.jp

電話 : 0956-25-3963

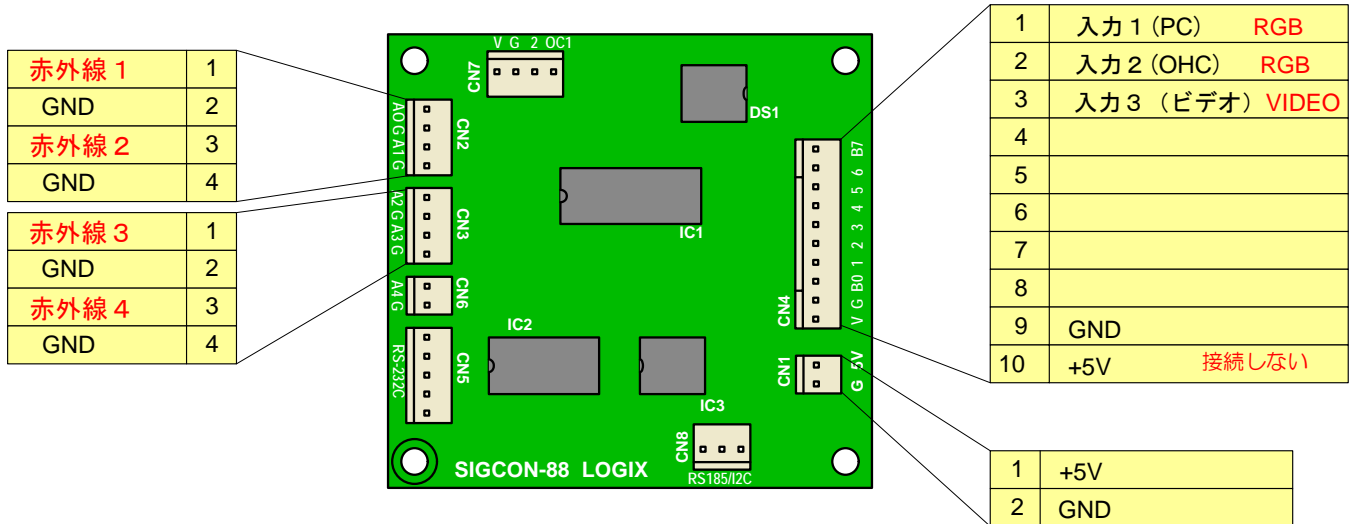
FAX : 0956-24-8564

WebPage : www.lgx.co.jp

この変換基板は基板上の1チップマイコンのプログラムを調整することで、その機能を実現しています。

入出力の仕様は下記のとおりです。電源、および信号の極性には十分注意して配線してください。

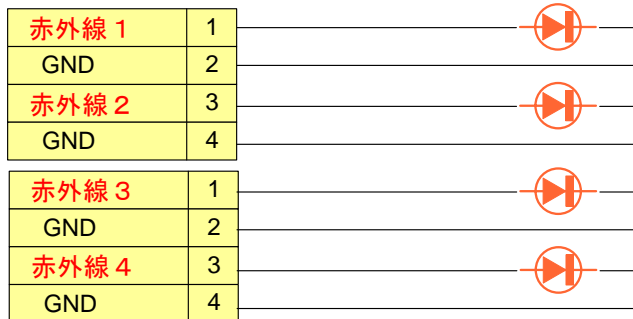
注意点として、パラレル接点入力の信号線の長さは1M以内(できるだけ短く)、赤外線信号は10M以内で使用してください。この長さは使用する環境により、左右されます。



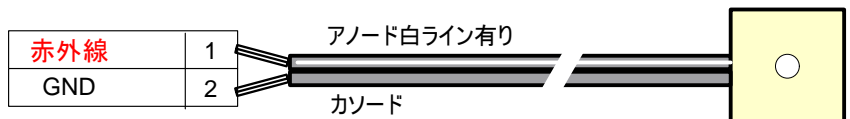
CN1 : 電源入力 安定化されたDC 5Vを入力します (消費電力 : 50mA以下)

RGBへの切替は2系統用意しています。PVS-R102の出力が1系統しかない場合は2系統の内、どちらか一つ使用してください。

CN2,CN3 : 赤外線出力



赤外線ケーブル



CN5 : パラレル接点入力



これらの端子をGNDに接続すると、該当する赤外線信号が出力されます。この信号はグラウンドにショートした瞬間、出力されます。同時に複数選択することは禁止です。

赤外線信号出力間隔

| インターバル 1 | インターバル 2 | 時間 |
|----------|----------|---------|
| ショート | ショート | 100msec |
| オープン | ショート | 200msec |
| ショート | オープン | 300msec |
| オープン | オープン | 400msec |

赤外線[PC]コマンドと[INPUT]コマンドの発行間隔は上記の設定で変更できます。

